

Title	次号目次 前号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1961
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.54, No.5 (1961. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610501-0092

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論 説

江戸時代経世済民論の一考察……………島崎隆夫
第一次大戦後の農業恐慌の性格(下)……………常盤政治

資 料

明治社会主義史料にあらわれた
外国社会主義運動……………飯田 鼎
村の細民—フランス農業史研究の一齣……………渡辺國廣

書 評

荒畑寒村著『寒村自伝』……………飯田 鼎
全国農業協同組合中央会編
『共済事業の理論と実務』……………庭田 範 秋

エリザベス・アイゼンシュタイン著

『最初の職業的革命家

フィリップ・ミケル・ブオナロッティ』……………野地 洋 行

Z・G・ビルビヤ 共著

『大都市シカゴの経済分析』……………高橋潤二郎

新刊紹介

前号目次

論 説

輸出経済の形成……………矢内原 勝
——ビルマの米輸出貿易——

十九世紀イギリス労働運動と

マルクス主義(二)……………飯田 鼎

有業率変動の分析……………尾崎 巖

資 料

独占度測定の問題I……………原 豊

現代資本主義と混合経済の論理……………丸尾直美

書 評

岸本英太郎・渡辺春男・小山弘健著

『片山 潜』……………飯田 鼎

隅谷三喜男著

『片山潜——近代日本の思想家』

マッセ『亡命貴族の財産をめぐって』……………渡辺國廣

田中惣五郎著『日本ファナズム史』……………白井 厚

新刊紹介

編集後記

最近われわれの耳目をおどろかせたキューバ、アルジェリア事件に端的にあらわれた激動するアジア・アフリカの様相は、植民地の民族的独立という形態を通して現代資本主義経済の姿を物語っている。二つの中国論でこの春再びもめた中華人民共和国の成立もまたこの潮流と無関係ではない。

国内では日本経済の高度成長をかかげる池田政策の進行過程で、この連休前に議会を強行通過する予定といわれる農業基本法は、日本資本主義の構成的矛盾の一端である零細家族労作経営における生産力発展の限界をひき上げ、経済成長につれて拡大する労働市場に農業の余剰労働力を吸収しようとする方針である。が、農家の単位当り経営規模の増大・生産力の上昇に伴う農産物価格の低落傾向は、労働力の社会的再生産費(賃金)の低減には導いても、果して農家経済の再生産過程における蓄積の増大をもたらさずであらうか。

ともあれ、今日ほど各分野において冷静、客観的な考察に基づく経済理論の高度な展開の要請される時期はそう多くないであらう。現実に密着するしないは別として、活潑な従来の水準を更新する投稿への期待も又大きいのである。

(平野)

昭和三十六年五月一日 発行

◎三田学会雑誌 第五十四巻 第五号

定価 九〇円(送料別)

東京都港区芝三田二丁目二番地

慶應義塾経済学会

編集兼 代表者 山 本 登

発行人

電話三田(局)五一八一
振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者 東京都港区芝三田豊岡町八番地
図書印刷株式会社

安 倍 七 郎

半カ年予約購読料(送料共) 五四〇円
一カ年 " " 一〇八〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

東京都高輪局区内三田綱町一番地

発 売 所 慶 應 通 信

振替口座番号 東京一五五四九七